

1-23 各部の基本納まり図

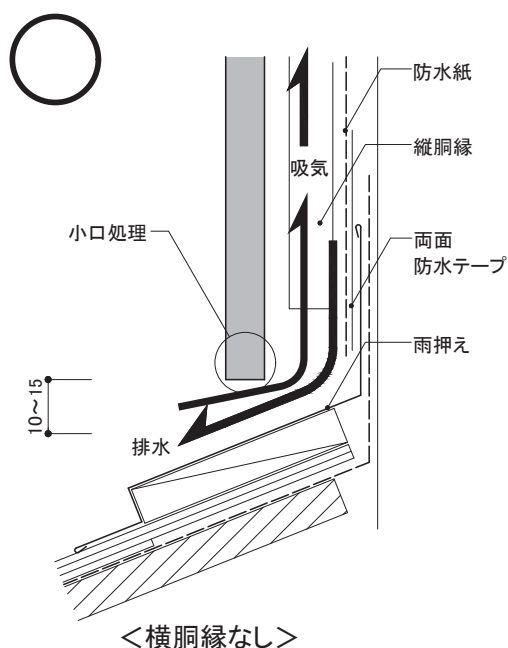
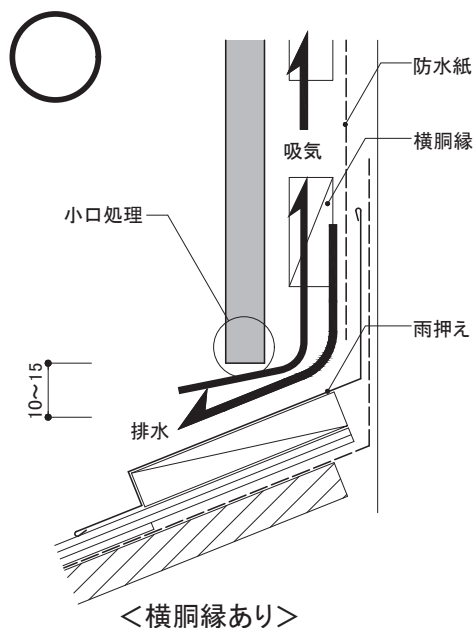
15) 下屋根部

①基本納まり

- 下屋根部は外壁通気構法の「吸気」、浸入水などの「排水」を行います。
 - 端あき距離、先孔については、P39をご参照ください。
 - 雨ハネ回避、吸気・排水のため、モエンと雨押えの間には10～15mmの隙間を設けます。
 - 棟側を縦胴縁のみで納める場合は、防水紙と雨押えの間に必ず両面防水テープを施工します。
- 横胴縁で防水紙を押さえる場合は、両面防水テープは必要ありません。

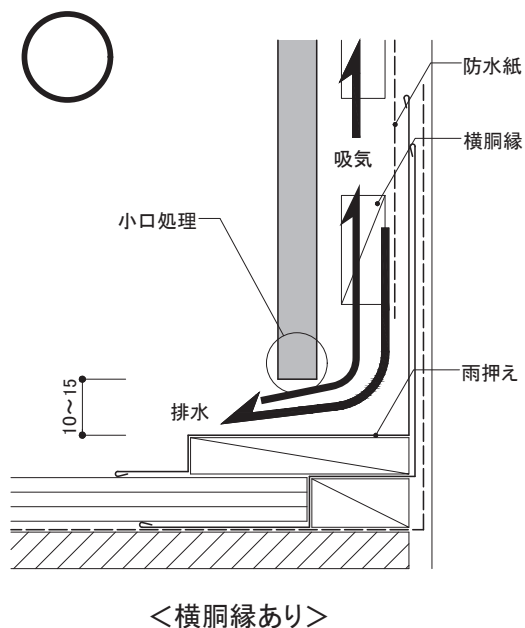
※流れ側は必ず横胴縁を取り付けます。

棟側



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

流れ側



流れ側は切り物が入る可能性があるため、縦胴縁のみでは釘打ち位置に下地を確保できません。
必ず横胴縁を入れてください。

